

om: junowaki-ocn <junowaki@able.ocn.ne.jp>
To: 村上和雄 <murakami-k@msg.biglobe.ne.jp>
Date: Tue, 04 Jun 2019 15:34:59 +0900
Subject: 村上先生へ

敬愛する村上先生、
ご病気でご静養中とお伺いし、胸を痛めております。

小生、足掛け 2 年前から、微生物学者、牧野光先生のお手伝いをしています。先生は鳥取大学農学部ご出身で、大学付属の乾燥地研究センターで遠山正瑛先生の右腕として沙漠緑化に貢献された先生です。牧野先生の「国際農業アカデミー構想」には、国連関係者、農業の未来を憂える方々が共感を抱かれ、この 7 月上旬には国連 ECOSOC の認証も降りる予定です。2, 3 の企業人から寄付金の申し出も受けています。

去る 3 月 29 日、牧野先生は第 3 回大学設立準備会のため、上京されましたが、前日新橋駅前で転倒され、急遽、ご入院、5 月 31 日ようやく退院されました。その経緯については別紙のサイトに報告の通りです。数々の困難にもめげず、大きな夢を追い続けられる牧野先生の姿勢には感服の他ありません。勿論、牧野先生の夢を実現するには多くのリスクがあることは存じ上げています。ただ、筑波大学の福田信之先生、長岡の国際大学の藤崎伸幸・武藤信夫氏等、数多くの大学創業者のご苦勞を見てきた小生にとって、「何とか牧野先生の夢を実現することを通して日本と世界の未来を拓く一石を投じることができれば」と思っています。

今回 6 月 10 日から数日、3 か月ぶりに上京されますが、其の折、村上先生宅に牧野先生と伴にお伺いし、(財) 国際科学振興財団を通しての免税装置が可能かどうかお伺いできればと当初考えました。その後、奥様から先生の御事情をお伺いし、FAIS のしかるべき方をご紹介いただくだけで結構でございます。また、NY の廣瀬輝夫先生の国際融合医療協会のお手伝いをしてきました。昨年長年の日本の医師界へのご貢献に対して謝恩会を開催しましたが、本年も今日来日され、6 月 16 日(日) 13:00~17:00、国際文化会館、第 3 回国際伝統・新興医療融合協会で講演されます。小生は、「病理学の医療から、健康医学(予防医療)への大転換、健康革命の国民運動が必要」と考えています。親友の小林常雄医師(がん予知予防センター長)等も全面的に賛成です。この件についてもアドバイスを賜れば光栄です。

また、今回、時間が許せば、東京農工大の宮田清蔵先生、大学を 5 つも創設された野田一夫先生、法政大の清成忠男先生、早稲田大の西原春夫先生、国連 OB の諸先生らも牧野

先生をご紹介します、「何とか突破口が無いものか？」ご相談、人事を尽くしてみようと思っています。

今後ともに忌憚のないご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

以 上

2019年6月4日

国際農業開発アカデミー創設準備事務局東京本部長

NPO 法人未来構想戦略フォーラム 代表

大脇 準一郎 拝

村上和雄 先生へ

=====

野田一夫先生へのご挨拶

野田先生に初めて お手紙を書かせて頂く喜びでいっぱいです。私は大脇準一郎先生にご紹介頂きました 牧野 光と申します。昭和 16 年ハワイ真珠湾攻撃で勃発した太平洋戦争開戦の年に生まれました。今月 78 歳になります。

鳥取大学農学部卒業、九州大学大学院修了、内蒙古科技大学名誉教授です。父は硫黄島で、37 歳で戦死、母は戦争未亡人となり土木作業員と農業とバス洗いをしながら、男 3 人の子供を育ててくれました。貧乏のどん底のなか、私が小学校 5 年の春でした、親子 4 人の生活ができなくなり、母は次男の私を子供のいない親戚の大農家に養子に出し、泣き別れました。

それでもご飯が食べられる私は、牛馬の世話をし田畑を耕す毎日でした。

中学卒業時に 百姓には学問はいらん。この子は百姓するためにもらった子だ。

と言いつけるのを 担任の先生の熱意で、農業高校に進学させて頂きました。農作業で一人前になった私に、大学進学を勧めてくれた担任の先生が、鳥取大学農学部 果樹園芸出身の先生でした。

農業高校では、国立大学には合格できないと思うけど、大学受験の許可だけを許してもらいました。受験できる嬉しさで、独学に挑戦し桜満開の鳥取大学農学部に入学することができました。鳥取大学の恩師は、父の様に励ましていただいた 2 人の先生でした。1 人は 日本園芸学会会長で、鳥取大学学長になられた 林 真二先生です。もう 1 人は 中国のモンゴル砂漠で 300 万本のポプラの砂漠緑化と、砂漠農業を実現させた 遠山征英先生です。

二人の師匠に励まされ、学ぶ喜びに囲まれ、貧しくても明るい人間の尊い生き方、地球市民として生きる喜びの人々に接して、私は泣きました。

この度野田一夫先生にお手紙を書かせて頂く中で、お手紙が、いつのまにか私の生い立ちの報告になってしまったことを、お詫び致します。

私の専門は微生物遺伝子工学です。微生物による砂漠農業、熱帯農業、砂地園芸と、無農薬、無化学肥料による自然免疫農法を研究しました。私は大分県出身です。5年前に国連本部より大分県の国東半島と宇佐地域が国連世界農業遺産の指定地域になりました。この事で広瀬勝貞大分県知事と語る中で、この地域に国連大学を設立しましょう。と提案し、私はニューヨークの国連本部にまいりました。国連本部では国連 ECOSOC（経済社会理事会）承認の NGO 協議資格を申請して、満5年になりますが、今年の7月に国連認証大学として、発表されるのを楽しみに励んでいます。

本日野田先生をご紹介していただきました、大脇準一郎先生には、豊かな人間性と豊富な知識と人脈に数々のご指導を頂いています。私の大学建設の理念は、開発途上国の人々に勇気と希望を持って頂くために、他に依存しない誇りと確信ある楽しい人生と自然を満喫していくためです。食糧危機も人権の格差も、人のために生きる喜びの中にしか生まれれないと思います。

野田先生に、そのための要諦を教えて頂きたく、お願い申し上げます。ご面談の機会を頂きますことを心よりお願い申し上げます。私は6月の10日以降でお願い頂ければ幸いです。いつでも参上させていただきます。

有り難う御座いました。

令和元年 5月吉日

国際農業開発アカデミー設立準備委員長

牧野 光

~~~~~

From : junowaki@able.ocn.ne.jp

To: 清成忠男◎ <n.kume@mpd.ac.jp>

Date: Tue, 04 Jun 2019 16:16:13 +0900

Subject: 清成先生へ

敬愛する清成先生、

いつも懇切丁寧なアドバイスを賜り、恐縮至極に存じ上げます。

電話でお話し申し上げましたように小生、足掛け 2 年前から、微生物学者、牧野光先生のお手伝いをしています。先生は鳥取大学農学部ご出身で、大学付属の乾燥地研究センターで遠山正瑛先生の右腕として沙漠緑化に貢献された先生です。

牧野先生の「国際農業アカデミー構想」には、国連関係者、農業の未来を憂える方々が共感を抱かれ、この 7 月上旬には国連 ECOSOC の認証も下りる予定です。

2, 3 の企業人から寄付金の申し出も受けています。 去る 3 月 29 日、牧野先生は第 3 回大学設立準備会のため、上京されましたが、前日新橋駅前で転倒され、急遽、ご入院、5 月 31 日ようやく退院されました。その経緯については別紙のサイトに報告の通りです。数々の困難にもめげず、大きな夢を追い続けられる牧野先生の姿勢には感服の他ありません。勿論、牧野先生の夢を実現するには多くのリスクがあることは存じ上げています。ただ、筑波大学の福田信之先生、長岡の国際大学の藤崎伸幸・武藤信夫氏等、数多くの大学創業者のご苦勞を見てきた小生にとって、「何とか牧野先生の夢を実現することを通して日本と世界の未来を拓く一石を投じることができれば」と思っています。 今回 6 月 10 日から数日、3 か月ぶりに上京されますが、其の折、牧野先生とお伺いしアドバイスを賜れば光栄に存じます。

また、今回、時間が許せば、東京農工大の宮田清蔵先生、野田一夫先生、早稲田大の西原春夫先生、国連 OB の諸先生らに牧野先生をご紹介し、「何とか突破口が無いものか？」ご相談、人事を尽くしてみようと思っています。

今後ともに忌憚のないご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

以 上

2019 年 6 月 4 日 国際農業開発アカデミー創設準備事務局東京本部長

NPO 法人未来構想戦略フォーラム 代表

大脇 準一郎 拝

清成忠男 先生 侍史

\* 牧野先生からのお手紙を添付させていただきました。

From: 宮田清藏 <seizo.miyata@gmail.com>  
To: junowaki@able.ocn.ne.jp>  
Date: Wed, 5 Jun 2019 15:21:28 +0900  
Subject: Re: 宮田先生へ、牧野先生からのお手紙を添付

大脇準一郎様

現在パリに来ており来年パリで開催する国際会議の打ち合わせを行っております。  
8日には戻ります。

13日15時過ぎ14日14時過ぎからでしたら時間があります。

小生が理事長をしているフロンティアサロン財団の部屋でお会いしたいと思います。

そこはホテルニューオオタニガーデンタワー10階に居ります。10階に上がりましてエレベーターを降りましたら左に進んでください。突き当りの右にフロンティアサロン財団と書いてあります。ガーデンタワーは本館とは異なります。地下鉄赤坂見附または永田町から降りていただき、新しいプリンスホテルを道路を隔てて前に在りビルです。

まず6階に上がって頂きビルを連結している橋を渡りますとガーデンタワー専用の受付があります。そこからエレベーターに乗って10階に行ってください。もしわからなければ受付の人にガーデンタワーに行く方法を聞いてください。

私も昭和16年生まれですが、この年で大学を創成するのは無理だと思います。誰かもっと若い人を探す必要があります。そうでないと平均寿命から言って卒業生が輩出する前に亡くなる確率が高くなるからです。そのようなことになると文科省が非難されるからです。もちろん若くても突然死はあるでしょうがこれは予見できなかったちうわけです。

また国連は資金不足ですので大学設立には政府が金を用意する必要がありますが、これもなかなか困難です。既存の大学に自分がやるのではなく先生の思いを理解した現役の先生がアフリカなどの農業留学生を受け入れることは可能だと思います。その特任教授となって農業に関する情熱を注ぎこめば良いのではないのでしょうか。これから大学を創立するのは大変難しく時間が掛かると思います。

前のも述べましたが大分の農業学校を利用するのも一つの方法だと思います。

広瀬さんは経産省の事務次官の時によくお会いしました。私が中心となって広瀬事務次官に大学長の集まりをしておりました。

組織を創立することが目的なのかそれとも開発途上国の農業を支援することが目標なのかをよくかんがえられたほうが良いと思います。勿論両方を狙うのですがそれには莫大な時間とエネルギーが必要です。現状の組織を変革しながら進めるのが良いのではないかと

と思います。またアジアとアフリカでは農業と一口で言っても内容は全く異なります。アフリカの中でも同じことです。

以上のことを牧野先生にお伝えください。

宮田清藏

2019年6月4日(火) 13:19 jjunowaki@able.ocn.ne.jp:

> 敬愛する宮田先生、

> 先日は懇切なお手紙を賜り、恐縮至極に存じ上げます。>

> ここ2ヶ月間、宮田先生の格調高いアドバイスにお答えしようと再三挑戦しましたが、なかなか波長を合わせられず、いたずらに時を過ごし申しわけございません。

国際農業アカデミーを唱道されている牧野光先生は、3月29日の第3回準備会のため、上京されましたが、27日新橋駅前転倒され、当初1か月の予定が2か月間のご入院となり、ようやく5月31日退院されました。そのご様子は下記のサイトにご報告済ですが、数々の困難にもめげず、大きな夢を追い続けられる姿勢には感服の他ありません

別紙の簡単なご報告に変えさせていただきます。牧野先生が6月10日から数日> 上京される折、ぜひお会いいただき、「牧野先生の夢を実現するのはどうすれば> よいか」、宮田先生の忌憚のないご意見を賜れば光栄です。特に牧野先生の夢を> 実現するには多くのリスクがあるのは存じ上げています。ただ、長岡の国際大学> を立ち上げた藤崎伸幸・武藤信夫氏、筑波大学の福田信之先生等数多くの大学創> 業者のご苦勞を見てきた小生にとって、「何とか牧野先生の夢を実現することを> 通して日本と世界の未来を拓く一石を投じることができれば」と思っています。

6月10日以降、1、2の先生のご都合の良い時間、お伺いできる場所（こちらからお近くの場所を設定しても良いですが）をお知らせいただければ幸甚です。その後、病床に伏していらっしゃる村上和雄先生を筑波にお尋ねし、(財)国際科学振興財団の協力を得て免税措置が可能なものかどうかお伺いしたいと思っています。牧野先生のお勤めになった九州大学の財団を通しとか、銀行の免税特別措置もあるとのこと。7月上旬の国連ECOSOCの認証が下りれば、寄付しよう

という篤志家も2、3いらっしゃるようですので、効率の良い方法を模索中です。

> 時間が許せば、大学を5つも創設された野田一夫先生、法政大の清成忠男先生、早稲田大の西原春夫先生、国連OBの諸先生にも「何とか突破口が無いものか？」牧野先生をご案内しご相談、人事を尽くしてみようと思っています。今後とも> に忌憚のないご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

以上

2019年6月4日 国際農業開発アカデミー創設準備事務局東京本部長

NPO 法人未来構想戦略フォーラム 代表 大脇 準一郎 拝

宮田 清蔵 先生 侍史

> From: 大脇<junowaki@able.ocn.ne.jp>

To: 宮田清蔵 <seizo.miyata@gmail.com>

Date: Sun, 14 Apr 2019 11:48:25 +0900

Subject: 宮田先生へ

敬愛するも宮田先生

いつも懇切なアドバイスを賜りありがとうございます。

> 昨夜池亀美枝子先生（アフリカ連合首相特別顧問・前T I C A D国連代表）がアフリカから帰国され、電話がありました。またちかぢか野田一夫先生もご相談にお伺いするため秘書にメールをお送りしました。諸先生に述べたような事情で、非常に厳しい状況ですが人事を尽くそうと思っています。

>宮田先生にご相談したいのは

1) 文科省へ提出する新大学設立のための大学教官探しです。大学基準協会会長のされた清成先生は、審査は相当厳しいとおっしゃっています。現状では大変難しいと思います。ベストを尽くしたいと思っていますので、ご教示の程、宜しく願いいたします。

2) 大学設立における段取り、留意すべき点等、この件につきましてもアドバイスを賜ることでできれば、さいわいです。以上よろしく願い致します。大脇 準一郎 拝

今のところ牧野先生の意識は東南アジアまでですが、今回アフリカも含めていただき、機会があればT I C A Dでご発言していただくことも検討しています。おそらくT I C A DまでにはE C O S O Cの認証がおりていることでしょう。

「金を残して死ぬものは下だ。仕事を残して死ぬものは中だ。人を残して死ぬものは上だ」

「自分のために借金するのは下だ。人のため借金するのは中だ。天の為に借金するのは上だ。」 「自分の為に仕事をするのは下だ。人の為に仕事をするのは中だ。天の為に仕事をするのは上だ。」 「自分の為に生きるは下だ。人の為に生きるは中だ。天の為に生きるは上なり。」

『人のお世話にならぬよう。人のお世話をするように。そして報いを求めぬよう』 自治の三訣（さんけつ）「自助、互助、自制」後藤 新平 以上

大脇 準一郎

拝

To: 野田一夫先生

Date: Wed, 10 Apr 2019 11:41:15 +0900

Subject: 野田先生へ

敬愛する野田先生、すっかりご無沙汰いたしております。

3月16日に3年間住み慣れた伊豆・修善寺から東京に戻ってきました。

昨年から1年間手弁当でお手伝いしてきた国際農業開発アカデミーが漸く陽の目を見そうになりました。国連OB方、渡邊忠オイスカインターナショナル副総裁のご尽力でこの7月、9割9分がた、国連ECOSOCの認証も下りる予定です。部省の認可の見通しが立ちつつあります。後者は全く急なお話ですが、この4月20日までに10名以上の専任教授、准教授のリストを文部省に提出しなければならないとのこと。これは当初、牧野先生は、大分県知事の認可で済む専門学校、80人規模で出発し、将来は800人規模に拡大し、実績を積んで数年後、大学に昇格させる計画で、気楽にお考えのようでした。長年お世話になっている清成忠男先生（元法政大総長、大学基準協会会長、事業構想大学院大学学長）、宮田清蔵先生（元東京農工大学学長）等にもお助けをお願いしつつある所です。

牧野光先生も予定の教官（実務経験者）もいらっしゃるようですが、大学設置へと急にハードルが高くなったので文科省の審査が通るのは、現状では「イヤローカード」のピンチです。こういった方面で意欲のある方、文科省の審査が通りそう方をご推薦いただけますでしょうか？人事を尽くして天命を待つ」の心境です。

小生、70年代から80年代、筑波大、国際大学を始め、数多くの大学の裏方で全面的にご協力し、日本の国際標準化に努めましたが、大学設立の実務・プロセスには不案内な点も多く、大学設置に対して、5つもの大学を設立された野田先生に本音のところをお伺いできれば光栄です。

以下、準備段階の非公式の連絡用サイトをご案内いたします。

IFDA 準備事務局 大脇準一郎 拝

~~~~~

rom: junowaki-ocn [mailto:junowaki@able.ocn.ne.jp]

Sent: Friday, March 29, 2019 12:00 PM

To: I F D A 準備会 <junowaki@able.ocn.ne.jp>

Subject: 3月29日第3回国際農業開発アカデミー準備会のご案内

1、万物馥郁たる春の生気の漲る昨今、皆様におかれましては、ようやくエンジンも> 始動し始めていることと存じます。伊豆で準備会の後、小生3月16日3年間住み慣れた伊豆から武蔵野市に戻りました。ようやく昨日あたりから、準備態勢が整い、今日の第3回準備会の準備をしています。お世話になっている皆様には、もっと早く最終ご連絡をすべきでしたが、もう一つ緊急な事情がありうます。牧>野光先生は今日29日（金）の準備会のために26日（水）に上京され、品川で打ち合わせを致しました。翌日午後新橋でお会い

する約束でしたが、駅前で転倒され、救急車で慈恵医大へ入院、足の皿が割れ、全治一か月とのこと、介護のこともあり、牧野先生は昨日夕方、新幹線で、同じくご出席の予定であった富田浩之先生の付きそいで福岡に返られ、午後8時に手術を受けられました。この事情を同郷（鹿児島）の中川十郎先生と牧野と3者で相談し、予定通り準備会は開催することと相なりました。詳細は牧野先生のメッセージをご覧ください。

ここ1年、小生、牧野先生の夢をフォローして来ましたが、夢を実現するにはリ>スクは付きものです。小生、伊豆からの移転に際し、当初大半の書籍を郷里の鳥取の書庫に送るように梱包したのですが、牧野先生の大学設立協力のご依頼もあって鳥取から大分に梱包し直し、70箱を大分の宇佐市大学予定地に送りました。6月1日から九州を拠点に活動する準備を進めています。時代を動かすには、イグニッション、ボランティア精神の重要性を痛感しています。小生の役割は、牧野先生の夢に結集できる人の輪を創る縁結びの役割と心得ています。

去る2月22日、はやぶさ2が地球から3億キロ離れた「かぐや」に到着。わずか6メートルの岩盤に1mの誤差で上陸。人間の技術力の素晴らしさ、正直であることの大切さを再認識させられました。牧野先生の夢は人類の夢もあります。牧野先生個人の事情に関わらず、この夢は実現でくるシステムづくりはできないもののでしょうか？

今回傍観者から当事者意識をお持ちくださり、もって忌憚のないご意見をお伺いできれば光栄です。

本日の様子は先回（第1回準備会）と同じく、記録を牧野先生を始め、関係各位にお届けいたします。国際農業開発アカデミー設立準備室室長

NPO未来構想戦略フォーラム（地球市民機構）代表
大脇準一郎 拝

From: <hi_ryokichi@yahoo.co.jp>

> Date: Wed, 27 Mar 2019 13:46:41 +0900 (JST)

> Subject: Re: 国際農業開発アカデミー発会式

大脇先生、ご無沙汰重ねています。発会式のご連絡を拝受しました。昨日インドネシアと東ティモールへの出張から帰京しました。SDGs 2016>30が今年で3年経過して、我が国を含めて各国の実施計画の進捗状況を評価し、次の3年間の戦略の練り直しが始まっています。先の訪問国フィリピン、タイ王国やマレーシアでの進捗状況では、ある程度の成果が政府によって公表されていますが、いずれの国々でも大統領選挙、議員の総選挙が実施される中で、意気込みは立派ですが、その成果が未だという感です。激励のための講演の旅でしたが、日本大使館、国連代表部、アジア開発銀行などのご紹介もあり、各地で国会議員、地方議員、大臣を含めた政府要人、学者、市民団体代表、民間企業経営者など、幅広く討議する機会に恵まれ、いたる所でいろいろ良い勉強になりました。途上国のSDGsに照らし合わせると国際農業開発アカデミーの目的、目標は重要であり、その設立に賭けておられる皆様のご尽力に脱帽する限りです。

今月29日の発会式は出張で、故郷の浜松へ行っていますので、残念ながら式には参加出来ませんが。その成功と今後の進展を祈っています。皆様によろしくお伝え下さい。

成蹊大学名誉教授・国連開発計画顧問 廣野良吉

2、牧野光先生のメッセージ

「国際農業開発アカデミー設立に向けて」

第3回準備会に当って

皆様本日は、日本列島各地より桜満開の便りが発表され、鶯の鳴き声がこだまする中、全国各地から、著名な先生方にお集まり頂き心より御礼申し上げます。前回は2月に伊豆の大脇先生の百鶴苑にて、有意義な第2回準備会を開催させていただき有難うございました。私の願いは、「地球に生を受けた素晴らしい私ども人間が、一人残らず悲しむ人の無いように喜び合いたい」のであります。「友の憂いに我は泣き、我が喜びに友は舞う。その一人に私はなりたい。」それが人間の特権だと思います。人間は食べなければ生きていけない。すべての生き物も同じです。地球に生きるすべての動・植物が生きていく権利を有する基盤は、満たされた食にあります。医農同源の哲学はここにあります。経済の発展も技術の進歩も、精神の理想郷が根底にあるとき平和な世界が生まれると思います。「鳥には鳥の道がある。魚にも魚の道がある。ゆえに人には人の道を進む大学を目指したい」と誓っています。

私は一昨日、東京の新橋で転倒し、全治一ヶ月の診断を受けて入院致しました。非常に心苦しいのですが、本日は出席できません。誠に申し訳ございません。最後に、今後の計画と資金の流れについて、一言ご報告申し上げます。

本年7月にグリーンハットインターナショナルは、国連本部より ECOSOC 協議資格の発表をいただきます。これは、本日出席のオイスカインターナショナルの副総裁であられる渡邊 忠先生のご尽力のお蔭でございます。心からお礼申し上げます。有難うございます。また、本年1月に大阪観光大学と教育提携を結び、文科省認可の学校法人「国際農業開発大学」を大阪観光大学の敷地に設立すべく準備をスタートさせました。加えて、日本各地5カ所に分校キャンパス設立の準備を進めています。

資金の進捗状況につきましては、一つは農水省の、もう一つは文科省の、それぞれ国家予算を申請いたしました。加えて財団からの寄付金があります。その他篤志家からの個人献金の申し出と、企業献金の申し出も数社からいただいています。いずれにおいても、国連協議資格取得が力になると考えています。以上

平成31年3月29日

国際農業開発アカデミー (IFDA) 設立準備発起人会代表

NPO グリーンハットインターナショナル理事長

牧野光

3、2019年3月29日第3回準備会参加者

No. 氏名 肩書き

- 1 青野友太郎 高等教育情報センター社長、地域振興
- 2 大脇準一郎 未来構想戦略フォーラム代表、市民国連副代表
- 3 奥山育英 鳥取大学名誉教授
- 4 金子晶子 テラ憩いの里（ワンダー・フォレスト・テラ）オーナー
- 5 阪田浩子 オフィスしょくの達人・日本母親連盟 代表
- 6 島野勝弘（湧泉） (株)オレンジ 自強法 滋養道 コンサル
- 7 武内光路 塾経営者・慶応大学哲学科卒
- 8 竹中 求 (株)カロン企画
- 9 中川十郎 名古屋市大特任教授・ビジネスインテリジェンス協会会長
- 10 花田一孝 元法務省研修教育機関指導教官
- 11 福田一夫 K&K 株式会社代表 元・富士フューチャーズ・野村証券
- 12 松尾欣治 歌手 武蔵大 桜美林林大 『アクティブ学園史』
- 13 皆川雅明 山形大学名誉教授・工学博士 環境開発
- 14 三原 晃 地域活性化機構理事長・ローハスクラブ代表理事
- 15 宮城栄史 (株)慶成ソウルーション代表取締役社長
- 16 棟田寛人 比ハター鉱山開発会社代表・チャンスインターナショナル(株)顧問
- 17 山下研一 (株)シンクアップ代表 元聖学院大学広報局長
- 18 鷲巣真一 海洋開発 海洋訓練教育協会静岡代表
- 19 渡邊忠 オイスカインターナショナル副総裁

4、次第：国際農業開発アカデミー設立第3回準備会のご案内

一陽来復の春を目前に、希望あふる夢を温めておいでのことと存じます。

さて、4年前から準備を始めた国際農業アカデミー（IFDA）構想も段々と協賛者も増え、具体的な形にする段階を迎えました。

そこで、先月伊豆での第2回 IFDA 設立準備会を踏まえ、第3回の準備会を開催 致します。正式な発起人会は当局の意向で7月国連の認証が下りてからとなります。

ひとたび太陽が昇れば、全地球の万物が歓喜する。誓願は人間を強くし、諦めなければ、夢はかならず実現します。皆様と共に今、立ち上げようとする庶民に国連 ECOSOC 認証・国際農業開発アカデミーの設立へ向けて万全の準備体制を引きたいと思います。

農は命の源、その原点は微生物にあることを知りました。そしてそのことを農業の証として実践して参りました。これからは、各界の専門家であられる皆様の叱咤激励を頂き、力強く船出いたしたいと念願しております。

下記のごとく、準備会を開催させて頂きたく、ご参席賜りますようご案内申し上げます。

平成 31 年 2 月吉日 国際農業アカデミー設立準備発起人会

代表 牧野 光 記

日時：平成 31 年 3 月 29 日（金）午後 2 時～5 時半

場所：(株)データ・マックス東京支店会議室

〒105-0004 東京都港区新橋 4-25-6, 鈴仙ビル 2F (地図添付)

次第：

2:00-2:40 趣旨・経過説明 牧野光 (メッセージ代読) 大脇 準一郎

コメント I 2:40-2:50: 吉川 宗男 コメント II 2:50-3:00 渡邊 忠

コメント III 3:10-3:20 中川 十郎

フリーディスカッション 3:30-5:15

5:15-5:30 まとめ・閉会

*6:00~7:30 オプションとして近くのレストランで夕食懇談会を予定

参加費：ご招待 (準備発起人会は無料)

主催：国際農業開発アカデミー設立準備会/グリーンハットインターナショナル

連絡先：IFDA 設立準備東京事務局 (仮) Tel：03-5929-4501 Fax:03-5259-4502

〒166-0004 東京都阿佐ヶ谷区阿佐ヶ谷 1-34-6 新東京会館 5 F、Japan Promotion Agency

内> 携帯：080-3350-0021 (大脇) E-mail: junowaki@able.ocn.ne.jp

On Mon, 25 Mar 2019 13:54:03 +0200

Mieko Ikegame <mieko615@aol.com> wrote:

大脇様

大変御無沙汰しております。私たちは2月18日より South Africa に来ておりますが、季節は夏から秋にかわり、毎日青空で清々しい日々を送っております。

同僚からアレンジしていただいた家に落ち着き、柴田はりハビりに励み、私の仕事も順調に進んでおります。>

日本を立つ前に大脇さんから前回出席させていただいた会議の報告ドラフトをいただきながら、何のご返答も差し上げず、失礼いたしました。今からでも間に合うようでしたら、ドラフトをもう一度送っていただけないでしょうか。いくつか訂正させていただきたい点があったと思います。

大変遅れて申し訳ございませんがよろしく願いいたします。

池亀美枝子 Sent from my iPad、